



受賞者を代表して謝辞を述べる鈴木爽夏さん

西会津中3年Ⅱ岩原遥音
 「さゆりが丘」福島県中学校生徒造形作品秀作審査会平面絵画の部（特選）、渡部紫音部（特選）

会津学鳳高1年Ⅲ三留拓真
 「西平」第40回福島県高等学校選抜剣道優勝大会男子団体（第3位）
 会津若松ザベリオ学園高1年Ⅱ長谷川姫菜「西原」第60回福島県高等学校新人体育大会陸上競技大会女子やり投げ（第7位）
 会津高2年Ⅱ伊藤大河「6町内」第60回福島県高等学校新人体育大会陸上競技大会男子5000円（第4位）
 会津学鳳高2年Ⅱ外島央「下野尻」第25回東北高等学校新人陸上競技選手権大会女子走幅跳び（第3位）、貝沼希実「上野尻」日学・黒板アト甲子園2020（優秀賞）



3 各種コンクール、競技会等で活躍した児童生徒（団体）
 にしあいづJVSスポーツ少年団Ⅱ第43回福島県小学生バレーボール選手権大会女子の部（準優勝）

西会津町教育顕彰 表彰式

耶麻地区学校教育研究作品展



町内児童生徒がさまざまな分野で活躍！ 功績をたたえ教育顕彰表彰式

町教育委員会では2月26日、西会津小学校多目的ホールで令和2年度町教育顕彰表彰式を開催し、本年度は、さまざまな分野で活躍した児童生徒の皆さん（個人表彰が19人、団体表彰では1団体）を表彰しました。

表彰式では、江添信城教育長が出席した受賞者へ表彰状を贈り、薄友喜町長、清野佐一町議会議長が祝辞を述べ、受賞者の皆さんを激励しました。式の最後には、表彰者を代表し、鈴木爽夏さん（喜多方高2年）が「今後も結果を残して町を盛り上げられるよう努力していきたい」と謝辞を述べました。

1 文化財の保護に貢献

故・齋藤宏一氏「3町内」
 町文化財調査委員ならびに文化財保護審議会委員を16年4カ月務め、町の文化財の保護に尽力

2 各種コンクール、競技会等で活躍した児童生徒（個人） 〔敬称略〕

西会津小4年Ⅱ眞部煌「芝草」令和2年度福島県火災予防絵画・ポスターコンクール

小学生高学年部門（優秀賞）、目黒心温「牛尾」IBKO全日本空手道選手権予選大会および福島県錬成大小学4年男子の部（第3位）
 西会津小6年Ⅱ鈴木果恋「森野」第70回社会を明るくする運動作文コンテスト小学生の部（優秀賞）、大槻茉紘「7町内」第74回福島県下小・中学校音楽祭第3部創作小学校の部（銅賞）

西会津中1年Ⅱ清野結菜「堀越」福島県中学校生徒造形作品秀作審査会平面絵画の部（特選）、渡部咲衣「上小島」

福島県中学校生徒造形作品秀作審査会平面絵画の部（特選）
 西会津中2年Ⅱ折笠遥南「5町内」福島県中学校生徒造形作品秀作審査会立体彫刻の部（特選）、伊藤詩野「6町内」福島県中学校生徒造形作品秀作審査会立体彫刻の部（特選）



全国2位）
 喜多方高2年Ⅱ鈴木爽夏「森野」第35回東北高等学校選抜ボート大会女子ダブルスカル（優勝）
 郡山女子大学附属高2年Ⅱ三留綾華「西平」令和2年度福島県高等学校新人体育大会剣道競技女子団体（優勝）

32人の子どもたちが西会津小学校に入学 ぼくたちわたしたち新1年生

この春、西会津小学校に入学する32人の新1年生を紹介します。今年の1年生は、平成26年4月2日から平成27年4月1日までに生まれた皆さんです。ご入学おめでとうございます。〈問い合わせ先〉 学校教育課 教育総務係 ☎45-2216

1町内	高松 光莉さん	9町内2	薄 奏介くん	萱 本 五十嵐 潤くん	高 目 福地 陽太くん
4町内	佐々木心紀さん	鈴木 陽空くん	下小島 伊藤 暖馬くん	滑 沢 佐藤 蓮信くん	橋 屋 古川友乃信くん
	佐藤 瑞希さん	芝 草 須藤 晴音さん	西 林 五十嵐 陽織さん	橋 屋 古川友乃信くん	橋 屋 古川友乃信くん
	長谷川 翔くん	西 田 学斗くん	西 林 東 長谷 沼 伶衣 菜さん	向 原 佐藤 正英くん	向 原 佐藤 正英くん
5町内	伊藤 奏人くん	西 原 江川 日和さん	さゆりが丘 三留 瑠莉さん	道 目 猪俣 優太くん	道 目 猪俣 優太くん
7町内	中田 翼稀くん	佐藤 紅蓮さん	上小島 佐藤 美緒さん		
9町内1	青木 俐玖くん	森 野 足立 響輝くん	出ヶ原 伊藤 圭未さん		
	神田 葵くん	井上 煌雅くん	下野尻 塚原 明音さん		
	二瓶 遥真さん	佐々木 奏太くん	徳 沢 佐藤 結飛くん		





議案23件を審議・可決 3月町議会定例会報告

3月5日から16日までを会期に開かれた令和3年第3回町議会定例会では、条例の一部改正や令和2年度補正予算、令和3年度予算など議案23件が審議されました。町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとおりです。

町政の主要事項 報告から

町の新型コロナウイルス感染症対策

町では、2月12日に町対策本部会議を開催し、県がこれまでの緊急対策を重点対策に切り替えたことに伴い、今後の対応について協議を行いました。その結果、これまでの県の緊急対策に合わせて町が実施していた公共施設の利用制限について、重点対策期間である3月7日までの間、さゆり公園体育館の町外団体の利用制限と屋内プールの町外利用者への利用自粛の継続を決定しました。併せて、町ケーブルテレビにより、引き続き

緊急事態宣言対象地域との不要・不急の往来の自粛要請や、感染対策が徹底されていない酒類の提供を行う飲食店などの利用を控えること、感染力リスクが高まる「5つの場面」を意識した慎重な行動のお願いを放送し、町民の皆さんへのご理解とご協力をお願いしたところです。

引き続き、町内の感染拡大防止を図るため「新しい生活様式の実践」と「3密の回避」、「マスクの着用」や「小さな手洗い」、「身体的距離の確保」などの基本的な感染防止対策を徹底するよう、町民の皆さんへ周知徹底を図っていきます。



▲ 役場分庁舎前に設置した新型コロナウイルスワクチン接種相談窓口

新型コロナウイルスのワクチン接種——
新型コロナウイルスのワクチン接種については、2月に地区の保健指導員を通して、町内の16歳以上の全町民に対し、ワクチン接種の希望の有無についての意向調査を実施しました。

また、4月以降から始まるワクチン接種を迅速かつ適切に実施するため、2月22日付で「西会津町新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム」を設置しました。

ワクチン接種推進チームは、副町長を総括とし、健康

増進課と西会津診療所の職員などで構成します。同チームは、ワクチンの接種計画の策定やクーポン券の送付、相談や予約の受付、接種会場の運営、関係機関との調整、接種記録の管理などの業務を行います。

西会津町デジタル戦略の策定

本戦略の策定については、昨年10月1日付けで町デジタル戦略アドバイザーに委嘱した公立大学法人会津大学の藤井靖史客員准教授より助言・指導を受けながら、町民、中学生、関係者との意見交換を行うとともに、職員研修を開催し、その中で出されたさまざまな意見などを反映し、策定作業を進め、基本理念・ビジョンと6つの戦略から成る「西会津町デジタル戦略」を策定しました。

また、本年4月からは、新たに、最高デジタル責任者(CDO)を設置するとともに、企画情報課内にデジタル戦略室を組織します。併せて西会

津町デジタル戦略推進本部を立ち上げ、町のデジタル施策およびデジタル技術を活用した業務改革を総合的かつ効果的に推進していきます。

株式会社アドレスとの連携・協力に関する協定の締結

地方への移住や、都市部の仕事を地方でしたいといったニーズの高まりなどを背景に、日本各地の登録物件に会員が定額で住める「多拠点居住の住まいのシェアサービス」を展開する株式会社アドレスと、町内の空き家など遊休資産の有効活用や、関係人口の増加による地域活性化を目的に、連携・協力に関する協定を締結する運びとなりました。これを契機に、今後は、多拠点居住やワーケーションを推進し、関係人口の増加はもとより、空き家利活用の促進を図っていきます。

ふるさと応援寄附金事業

本事業については、ふるさとチョイスなどの7つのウェブサイトの活用や、多

くの皆さんにご協力とご支援をお願いしてきたところです。この結果、令和3年2月28日現在で5678件、1億5605万8千円の寄付額となり、昨年度と比較すると3887件、1億2947万4千円の増となっております。

西会津産米の販売促進活動

令和2年度は、コロナ禍の影響でトップセールスなどの販売促進活動は自粛してきましたが、昨年11月18日に、平成27年産米から「西会津げんき米」の取引をしている「コー

全国的に天候不順による品質の低下が見られる中、会津よつば農協への出荷状況では、本町の一等米比率は95・8割、また、食味計で測定した全件数の平均値は81点と大変高い値でありました。

さらに、菌床キノコについては、全国の菌床シイタケ生産者が加盟する協議会の品評会で、町内に事業所を置く「西会津しいたけファーム」が6年連続の金賞を受賞し、西会津産シイタケの品質が高く評価されました。

会津地域鳥獣被害防止広域対策推進協議会の設立

全国的に野生鳥獣による農地・農作物への被害が拡大する中、ツキノワグマやイノシシなどを捕獲する際に使用するライフル・スラッグ弾の射撃場が会津地方にないことから、会津地方振興局と管内13市町村で構成される会津地域課題解決連携推進会議におい

て、捕獲活動の安全確保と体制強化を図るため射撃場施設整備に向けた協議を重ねてき

ました。また、ふるさと応援寄附金事業において、前年度に増して米の取扱量が大幅に増加しているなど、コロナ禍においても西会津産米の消費拡大に取り組んでいます。

令和2年産米については、

可決された議案

◆町デマンドバス運行条例の一部改正

利用増進に向けた使用料の見直しに伴う所要の改正

◆町税条例の一部改正

令和3年度一般会計予算11年度に定める第一号被保険者の介護保険料や、低所得者の軽減強化に係る特例措置を

◆町下水道排水設備工事費負担金の設置及び管理に関する条例の廃止

令和2年度一般会計補正予算(第13次) 事業費確定や既定予算の最終的な整理

◆令和2年度一般会計補正予算(第14次) 除雪事業に係る経費

令和2年度特別会計補正予算(後期高齢者医療・国民健康保険・介護保険特別会計、水道・下水道事業会計)

◆令和3年度一般会計予算

令和3年度一般会計予算11年度に定める第一号被保険者の介護保険料や、低所得者の軽減強化に係る特例措置を

令和3年度一般会計補正予算(第1次) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金第3次分に



令和3年度町国民健康保険特別会計補正予算(第1次) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金第3次分に係る事業費1043万1千円を増額

◆町第8期介護保険事業計画・第9期高齢者福祉計画の策定

喜多方地方広域市町村圏組合規約の変更 組合事務所の移転に伴う変更



よりよい運行にご協力をお願いします デマンドバスの料金が変わります



4月1日より、デマンドバスの料金が次の内容に変更となります。
4月以降の利用の際はご注意ください。

◆変更点

- ①町外者料金「大人」「小人・70歳以上」の金額を**変更**
- ②未登録・当日予約者料金のうち、「小人・70歳以上」の金額を**変更**
- ③利用者に「手回品」の料金を**新たに設定**（シニアカーなど介護用品を除く）
手回品料金が発生する基準（下記のいずれかに該当するもの）
 - ・重量：10kg以上 30kg以内
 - ・大きさ：0.027立方m以上 0.25立方m以内
 - ・長さ：1m以上 2m以内

《具体例》
登山用リュックなど

問い合わせ先

町民税務課
町民生活係
☎45-2215

◆デマンドバス利用料金表（令和3年4月1日より） ※赤字の部分が変更箇所です。

区分	登録済者で 前日までに予約	未登録者・ 当日予約	町外者
大人（中学生から69歳まで）	200円	300円	300円
小人（小学生）・70歳以上	100円	150円	150円
新 てまわりひん 手回品	100円	150円	150円

西会津地域活性化協議会 農林産物等集荷・買い物支援部会 活動報告 ミネラル野菜普及会を対象にスマートフォン講習会

西会津地域活性化協議会・農林産物等集荷・買い物支援部会では、農林水産省の補助事業「農山漁村振興交付金」を活用し、農家の高齢化が進む中、円滑な農林産物の集荷および買い物の支援体制づくりを検討しています。

2月18日には、実証実験の一環でミネラル野菜普及会役員を対象にICTを活用したネットワークづくりを目的として、株式会社NTTドコモの協力の下、スマートフォン講習会を開催しました。同普及会の役員の方々は、NTTドコモが準備したスマートフォンを使って、カメラや地図アプリ、コミュニケーションツールアプリの操作方法を学びました。



参加者の中には、初めてスマートフォンを触る人もいましたが、意欲的に研修を受けていました。今後は専門員への相談や栽培指導、情報の共有など営農活動に活用できないかを検討していきます。

年々増加する鳥獣被害の現状を伝える 有害鳥獣対策活動成果報告会

町では、町内各地でイノシシ、ニホンザル、ツキノワグマによる農作物などへの被害が増えており、その現状と効果的な対策について情報を共有するため、西会津地域活性化協議会と共催で、2月27日に「有害鳥獣対策活動成果報告会」を開催しました。

報告会ではまず、町農林振興課職員が平成27年度からの有害鳥獣被害の現状について、年々、被害額や被害面積が増加している状況を報告しました。続いて、鳥獣被害対策専門員からは、町や自治区で取り組んでいるわなや電気柵、鳥獣の生態を確認するセンサーカメラ設置による対策のほか、集落周辺への出没を抑制するために里山林を間伐するなどをを行ったことを報告しました。

最後には質疑応答が行われ、参加者の皆さんからは有害鳥獣対策に関する質問や要望などがあげられ、有意義な報告会となりました。



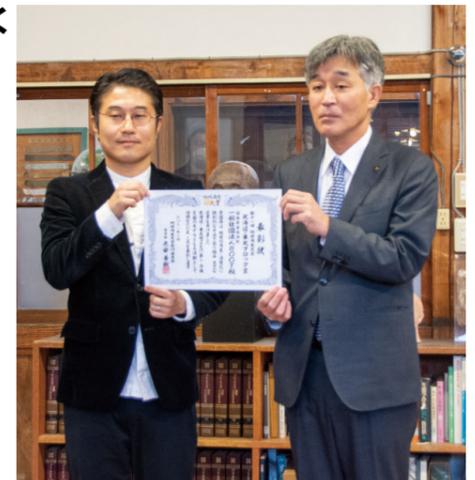
第11回地域再生大賞で北海道・東北ブロック賞に輝く 一般社団法人BOOTが受賞

西会津国際芸術村の運営を受託している一般社団法人BOOTが第11回地域再生大賞で北海道・東北ブロック賞に輝きました。表彰式は2月16日に西会津国際芸術村で行われ、矢部佳宏代表理事（写真左）に福島民報社の五十嵐稔会津若松支社長（写真右）から表彰状などが伝達されました。

一般社団法人BOOTは、西会津国際芸術村を拠点に、滞在アーティストによるイベントの運営のほか、移住や二地域居住を希望する人への支援、創業支援、起業家育成などに取り組んでいます。

◆地域再生大賞とは

全国の地方新聞46紙と共同通信社が、地元で活気をもたらす、全国のモデルとなる活動に取り組む団体を表彰しようと平成22年度に創設しました。今年度は、全国各紙から推薦された50団体の中から、大賞、準大賞などが選ばれました。ブロック賞は上位4番目相当の賞となります。



まちづくりのための大切な1票です 町長選挙の日程が決まりました

本年8月4日の任期満了に伴う町長選挙の日程が、3月1日に開催された町選挙管理委員会で決定しました。

投票時間などの具体的な内容については、6月に開催される選挙管理委員会で決定します。

◆告示日 **7月13日（火）**

◆投票日 **7月18日（日）**

《問い合わせ先》 町選挙管理委員会 ☎45-2211

忘れずに投票
しましょう！



これからも町の話やニュースをお届けします

広報にしあいつのロゴが新しくなりました！

昭和30年6月に町公民館が発行した「公民館報」を前身とし、昭和32年4月から発行している「広報にしあいつ」は、今月号で750号を迎えました。この節目にあたり、表紙に使われている題字のロゴを新しくしました。

ロゴの作成は、地域おこし協力隊でコピーライターとしても活動している西道紗恵さんの紹介で、大阪・京都を拠点に活動しているデザイナーの森倉

ヒロキさんに依頼しました。京都府在住の森倉さんとは、オンラインでの打合せを重ね、町の自然や文化、広報にしあいつのことなどを知ってもらった上で、ロゴ案を作成してもらいました。

今回の新しいロゴでは、これまでのローマ字から平仮名に変更し、題字が一目で分かるように読みやすさを重視しました。



◆ロゴに込められた思い

「みんなに優しく、みんなに愛される広報紙」をコンセプトに、平仮名の持つ丸みのある優しさ、温かさに着目して制作しました。平仮名を使うことで、子どもから高齢者まで全世代の町民の皆さんに読んでもらえるようにとの願いが込められています。

また、既存のフォント（書体）ではなく手描きしたものを加工し、町名の「にしあいつ」にある「あい（=愛）」を目立つように各号ごとに配色を行います。



森倉ヒロキさん

制作者より

ロゴを作るにあたって、何回もヒアリングを行わせていただきました。ともに悩み、ともに考えたこのロゴは広報紙担当の秦さんと二人三脚で作ったロゴだと思っています。『西会津のいいところは人の温かさです』と秦さんは話していました。そんな、温かいロゴになったと思っています。

プロフィール

大阪府出身。フリーランスのデザイナー。大阪と京都を拠点に活動中。ロゴなどのデザイン制作だけでなく、販促企画などにも携わる。

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1 枠当たり縦 4.0 cm × 横 8.5 cm
- ◆掲載料 1 枠当たり 5,000 円 / 月

〈問い合わせ先〉

企画情報課 情報政策係 ☎ 45-4536